

参 考 手 本

高樹、江雲に入る。

高 木 聖 雨 先 生



※これは規定課題ではありません。

参 考 手 本

※これは規定課題ではありません。

高樹、江雲に入る。

高 木 聖 雨 先 生



# 条幅かな

# 条幅規定

C部 (二段以下)

A部 (準五段以上)

B部 (四段～準三段)

わが心いかにせよとてほととぎす雲間の月のかげに鳴くらむ (藤原俊成)

※かな部は支部名・段級・姓号を鉛筆で左側下部に添え書きして下さい。



前後赤壁賦 (元・趙孟頫)

我有斗酒藏之久矣以待子不時之須於是

浮 乗 清 郷 先生 書



道因法師碑 (唐・歐陽 通)

之力有感斯見非夫確至曷以臻乎既而黃霧



条幅のバーコード出品券にはA・B・Cでは無く段・級を記入して下さい

(8月10日締切)

半紙規定 (一)

九成宮醴泉銘 (唐・欧陽詢)



清書の提出は〔初段以上〕楷書か隸書  
〔二級以下〕楷書

響きの如く、  
赫赫明明たり。

響赫赫明明

〔この課題を同月の半紙随意には出品出来ません〕

(8月10日締切)

半紙規定 (二)

曹全碑 (漢・作者不詳)



西或家敦煌

※清書作品には支部名・段級・雅号を必ず筆で記入して下さい。

隴西ろうせいに居おり或いは敦煌とうきやうに家いして

〔この課題を同月の半紙随意には出品出来ません〕

(8月10日締切)

本 手 考 参 幅 条

廬南萬古峽常有野雲封朝  
來雷雨過白日下飛龍

南嶂書

渡邊南嶂先生

廬南萬古峽 常有野雲封 朝來雷雨過 白日下飛龍  
廬南の万古峽 常に野雲の封する有り 朝來雷雨過ぎ 白日飛竜下る

下村紫雲先生

懷君屬秋夜 散步詠涼天  
山空松子落 幽人應未眠

山空

懷君屬秋夜 散步詠涼天 山空松子落 幽人應未眠  
君を懷うは秋夜に属し 散歩して涼天に詠ず 山空しゅうして松子落つ 幽人応に未だ眠らざるべし

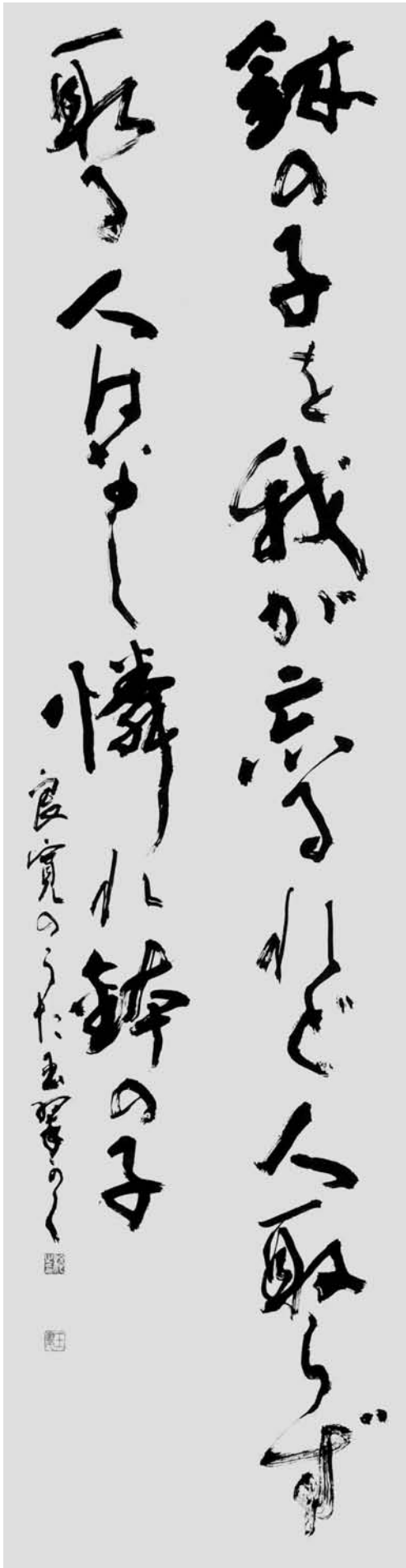
条幅参考手本



塚田悠碩先生

樵問漁 江湖風波惡 何似采薪人 無憂茹藜藿  
 樵は漁に問う 江湖風波悪し 何似ぞ薪を采る人の 憂い無くして藜藿を茹うに

田辺玉翠先生



鉢の子を我が忘るれど人取らず取る人はなし憐れ鉢の子

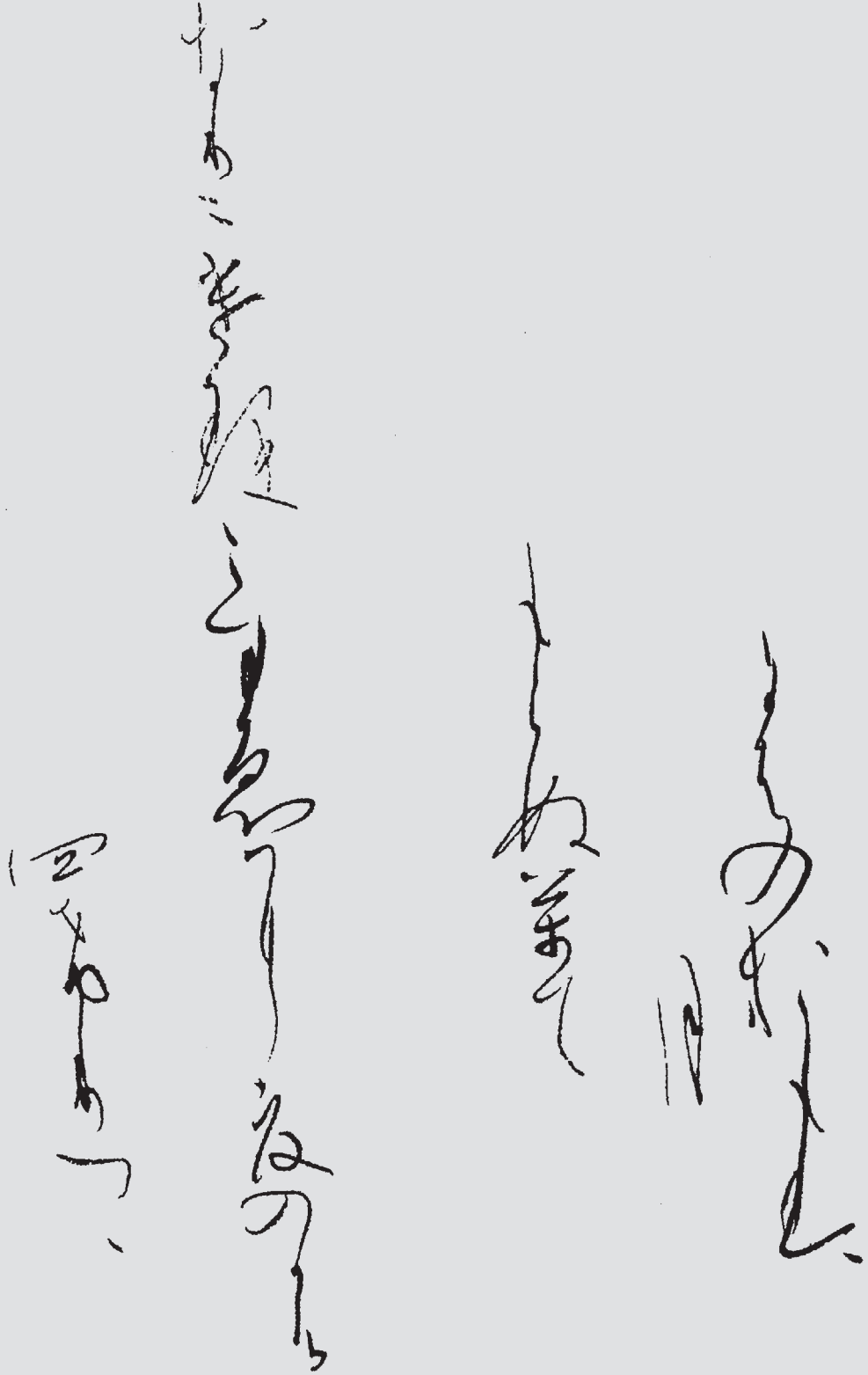
半紙かな（初段以上）

庭の面は月もらぬまでなりにけりこず糸に夏のかげ茂りつつ（白河院の歌）

※支部名・段・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。

※ちらし文字変換は自由

支部名 段 姓 号（鉛筆可）



浮 乗 清 郷 先 生 書

（8月10日締切）



半紙かな（1級～8級）

会釈とは別のほほえみ夏ひばり（谷口雨衣）

支部名 級 姓 号（鉛筆可）

会釈  
別のほほえみ夏ひばり  
雨衣の勾

後藤真水先生

※支部名・級・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。  
※ちらし文字変換は自由

（8月10日締切）

実用文（準三段以上）

〈書風任意〉

上海は江南の入口である。ここより  
西りすれば、蘇州・南京へ、南行  
すれば、杭州・紹興へ、江車の旅は  
すべてここが起点になる。昔は杉  
先も著江車遊より  
支那名 西 娘 号

大井岳陵先生

（8月10日締切）

実用文（二段以下）

〈書風任意〉

積善の家に余けいの居候・月落ち

烏啼りて女房腹を立て・小人に店たぢ

を追われる素読の師・仕舞うとき

夫婦別あり内裏びな 江戸川柳から

支部 段・級 姓 号

久保田 悠山 先生

（8月10日締切）

細 字

支 部  
段  
姓  
号

妖 鯉 棲 潭 怪 龍 栖 淵 柑 橘  
 妖 鯉 棲 潭 怪 龍 栖 淵 柑 橘  
 妖 鯉 棲 潭 怪 龍 栖 淵 柑 橘  
 妖 鯉 棲 潭 怪 龍 栖 淵 柑 橘

※一級〜八級は草書まで。 初段以上は隷書まで。

妖よう 鯉り  
 棲せい 潭たん  
 あやしい程大きな鯉。  
 深い水たまりにすむ。

栖せい 淵えん  
 「棲潭」に同じ

名前は必ず楷書 17 cm (よこ) × 24 cm (たて)

# 硬筆（初段以上）

トマト・茄子・南瓜。夏は色とりどりの美しい野菜が沢山出揃う季節。その野菜一つ一つには夏の暑さから身を守るための栄養がぎろしり含まれている。旬の“野菜の力”をもらって、夏をしっかりと乗りきろう。

支部名 段 姓 号

本院定型用紙一枚に書く

青柳江雲先生

（8月10日締切）

硬筆（4級以下）

硬筆（1級～3級）

本院定型用紙・たて半分に書く

ジオパークとは、大地を見て、知って、感じて、  
食べて、楽しむ公園です。

支部名

級

姓

号

齊藤 翡翠 流 先生

ジオパークとは、大地を見て、知って、感じて、  
食べて、楽しむ公園です。

支部名

級

姓

号

齊藤 翡翠 流 先生

（8月10日締切）

中2用

支部名

題作

段級

材文

名

前

の

田邊玉翠先生

中3用

支部名

練水

段級

習泳

名

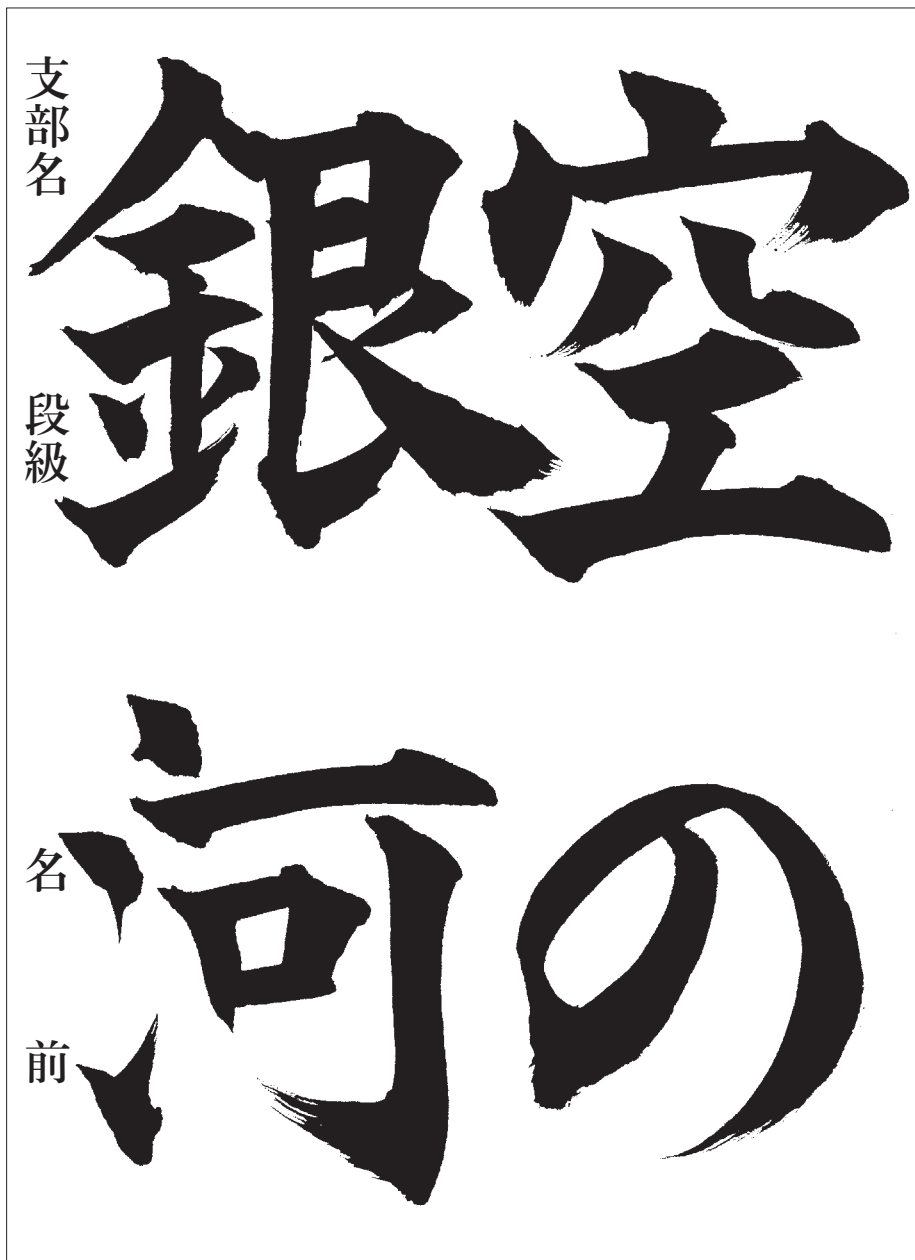
前

の

田邊玉翠先生

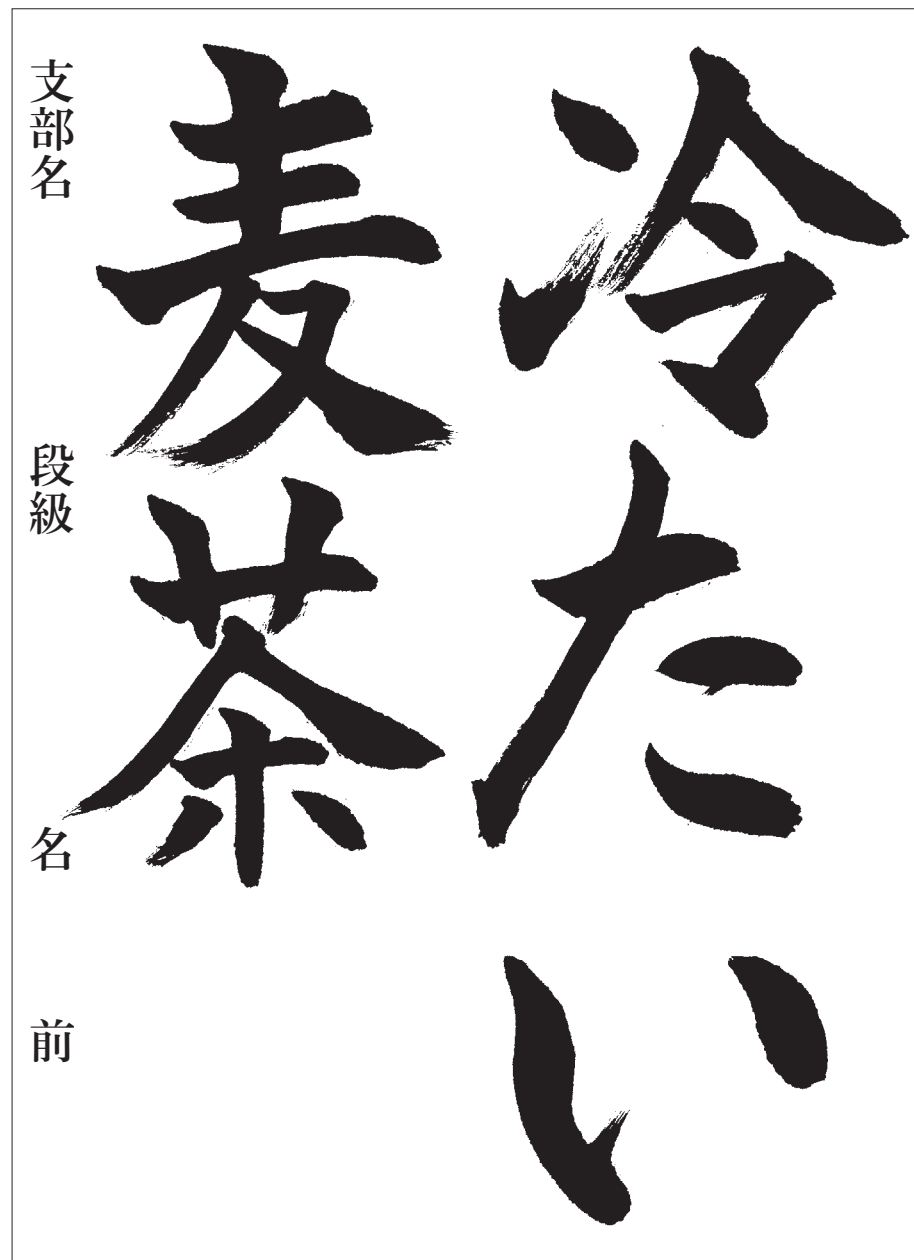
(8月10日締切)

小6用



朝平霞山先生

中1用



田邊玉翠先生

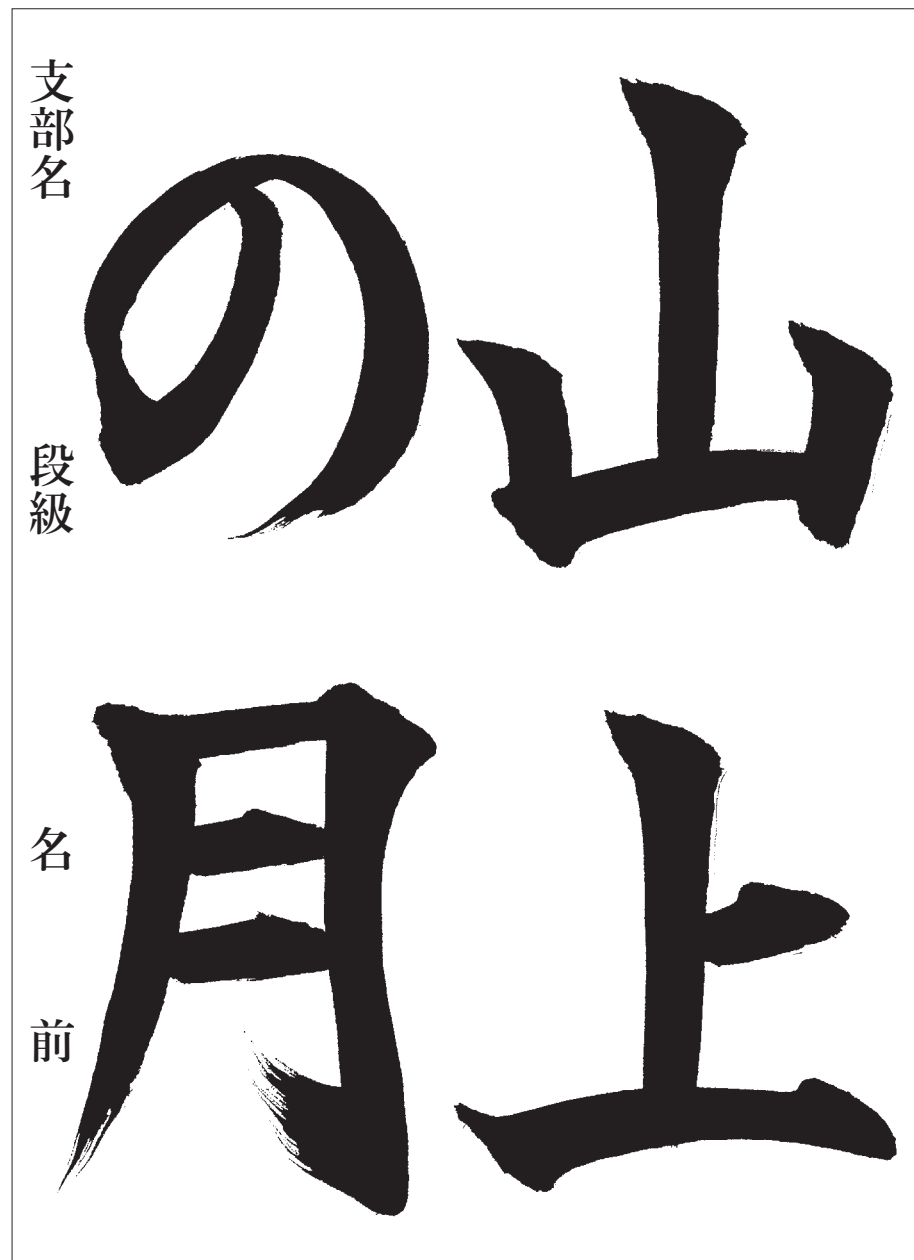
(8月10日締切)



小4用



小5用



朝平霞山先生

朝平霞山先生

(8月10日締切)

小2用

支部名

段級

名  
前

主幹 菅野翠濤

小3用

支部名

段級

名  
前

主幹 菅野翠濤

(8月10日締切)

中1

軽い運動で汗をかくの  
が、最高の健康法だ。

中2

青い空に白い雲、夏は  
海の恋しい季節だ。

中3

夏は湿度が高く、蒸し  
暑く、過ごしにくい。

小1・幼年用

支部名

段級

名

前

そら

中1～中3

青柳江雲先生

(8月10日締切)

小1・幼年

はなつやすみ、えにっき、  
はなび、うみ。

小1～小3

小 2

なつ休み中に、ありの  
かんさつをした。

齊藤 翡翠 流 先生

小 3

夏休みには、家ぞくで  
りよ行に出かけます。

小 4

つゆが明け、太陽とと  
もに夏がやってくる。

小4～小6

小 5

さあ夏だ。暑さに負け  
ず、海で泳ぎます。

若月 久美子 先生

小 6

家族で公園へ、花火大  
会を見に出かけます。

(8月10日締切)

# 小学部小筆課題

支部名

段級

名

前

海べの風  
ながれ星

主幹 菅野翠濤

# 中学部かな課題

支部名

段級

名

前

砂す  
ありて清水や  
岩の間に

季語「清水」

山路の岩と岩との間に清水がわいている。みると底に砂が少しあり動いている。砂の下から湧いているようだ、の意。清澄な清水のさまが表われた句。

船久保 棠苑 先生

(8月10日締切)